

## 第九回青少年健全育成強調運動

## 明るい家庭を

つくりましょう



## ◎なんでも話し合える家庭◎

家族のものが、夕食のときなど集まって、その日一日のできごとを、こどもが親に話したり、また親のほうでもこどもに対して、いろいろの考えをのべたりして、お互いになんでも話し合うことによって、家庭内の理解と愛情を深めることはきわめて重要なことです。

そこで育てられたあたたかい人間関係を欲する気持は、お友だちとの遊びにも、学校においても、つねに仲よく、平和をきずいていこうとする素質の持主になることに大きい影響をもつからです。

## ◎規則正しい生活がいとなめる家庭◎

こどもだけに、規則をまもることをしても片手おちです。家庭生活は規則正しくいとなまれるべきで、それには家族のすべてが、お互いに家の仕事を分け合い、きちんとした家庭のふんい気を保つよう努力する。

とくにこどもの外出帰宅時間などについては、つねに親が知っているようにつとめなければならぬ。

## ◎みんなで楽しめる家庭◎

家庭はだれにも遠慮なくくつろげて、自由に、しかも楽しくすごせる場所です。家族がそろって遊戯を楽しんだり、余

暇を生みだしての団らんや、遊園地や公園にピクニックにでかけたり、計画的に実施されるレクリエーション活動の機会も多くもつべきです。

### ◎父親、母親はばらばらではない◎

母親がもっていることについての父親への不満の多くは、父親がこどもの教育に対して無関心であるということです。わが子のことですから、無関心であろうはずはないのですが、日常の言動が母親にとって、そうとしかみられないところに問題があります。たとえばこんな例があります。

「困ることは、私が叱ることを、主人がほめることです。ふだん、家にいる母親の方が、こどものよくない面をみて知っているのですし、そういう点を直そうとして叱ると、父親がほめてしまったり、母親が買えないといったものを、父親が買ってやったりしては、家庭でのしつけはできません」といってなげく母親がいます。

一般的に、家庭においての父親のはたす教育上の役割は、社会生活との関連から、こどもの行動を批判したり、社会的なものの方を教えることが多く、それに対して母親の役割はこどもに接する時間が多いので、基本的生活習慣のしつけが中心になります。この場合、父親と母親が基本的な方針に

ついては、絶えず話し合い、意見を統一しておくことが必要です。父親と母親の言動がちぐはぐであっては、こどもはとまどうばかりか、こどもの人間形成によい結果は得られません。そして、こどもに対するしつけのみが家庭教育であると考ええることは捨て去らなければなりません。家庭教育には両親相互の理解と、その学ぶ姿からこどもの生活が導かれていくことが必要です。

### ◎お互いの家庭生活で反省してみたい点◎

- 家族のそれぞれがお互いに尊重しあっているでしょうか。
- 生活の運営が、話し合いを中心として、民主的にいとなまれているでしょうか。
- 家族がお互いに信頼し合い、正しい愛情によって、支えられているでしょうか。
- 生活様式が古いしきたりや、習慣によって拘束されていないでしょうか。
- 家族のそれぞれに適したレクリエーションがとりあげられ、家庭が自由な、そして楽しい安息の場としての役割りを果たしているでしょうか。